

みんなの展覧会の絵プロジェクト

コンサート

100人の 展覧会の絵

- みんなでつくる新しい『展覧会の絵』 -

音楽を聴いて感じたことを絵にしてみると、どうなるんだろう？

このコンサートのメインプログラム『展覧会の絵』では
1月に開催したワークショップで参加者が制作したパステル画の作品がデータ化され、
『展覧会の絵』の演奏とともにスクリーンに投影されます。

コンサートホールのステージで展開される

総勢100名の参加者による、音楽と絵のコラボレーション。

“みんなでつくる作品『展覧会の絵』”を是非お楽しみください！

2023. **3.19** (日) 開場 13:30 開演 14:00

会場：下関市生涯学習プラザ 海のホール 下関市細江町 3-1-1

プログラム

イベール 3つの小品
モーツァルト きらきら星変奏曲
ルーセル ディヴェルティメント
ムソルグスキー 展覧会の絵

チケット

一般 2,000円 / 学生 1,000円
(当日各500円増)

出演

Flute 村田絢子 / Oboe 岸美由紀
Clarinet 山下愛 / Fagot 近藤聡彦
Horn 村田真一 / Piano 宮田瞳

● チケット取扱い

アルテナナゴ
一般社団法人 arte75

Tel ▶ 070-8398-4809 (塩田)

ウェブサイトからもご予約可 ▶

下関市生涯学習プラザ、下関市民会館でもご購入いただけます。



●お願い 会場での感染症拡大防止対策にご協力ください。5歳未満の方のご入場はご遠慮ください。

主催：一般社団法人 arte75 協力：アートビレッジ 39 後援：下関市、下関市教育委員会、公益財団法人 下関市文化振興財団

みんなの展示会の絵プロジェクト ワークショップ

2023.1.22 10:00 - / 14:00 - (全2回)



村田絢子 フルート

島根大学教育学部学校教育教員養成課程音楽教育専修フルート専攻卒業。国内外の音楽セミナーに参加し研鑽を積む。第12回日本クラシックコンクール全国大会一般の部入選。フルートを石飛祥一、野坂知子、西田直孝、関根雅裕の各氏に師事。また、カミラ・ホイテンガ、マリオ・カローリ各氏のマスタークラスで研鑽を積む。下関、北九州を中心にソロ、室内アンサンブルで演奏活動する傍ら、後進の指導にあたる。下関市民オーケストラ団員。



岸美由紀 オーボエ

武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科オーボエ専攻卒業。田淵哲也、河野剛、吉成行蔵、Gernot Schmalfluss、Josef Kissの各氏に師事。武蔵野音楽大学ウィンドアンサンブルのメンバーとしてRay E.Cramer氏指揮のもと米国シカゴで開催された第60回ミッドウェストクリニックに出演 JAPAN BAND CLINIC (第44回日本吹奏楽指導者クリニック)において、楽器別講座オーボエ部門の講師を務める。2014年山口県下関市に移住。フリーのオーボエ奏者として、オーボエ講師として活動する。



山下愛 クラリネット

12歳よりクラリネットを始める。大牟田高等学校、くらしき作陽大学音楽学部音楽学科卒業。クラリネットを水崎徹、林原郁雄の両氏に師事。大学卒業と同時に倉敷チボリ公園(現在は閉園)専属吹奏楽団“チボリウィンドアンサンブル”にクラリネット奏者として2年間在籍。退団後は北九州市消防音楽隊の隊員となり4年間在籍。退団後は、フリーのクラリネット、バスクラリネット奏者として演奏活動を行うと共に、社会人や主婦の方々、中学生や高校生のみなさんとの個人レッスン、吹奏楽部のパートレッスンや音楽大学受験にむけての個人レッスンなど後進の指導にもあたる。平成26年より希望が丘高等学校に吹奏楽部トレーナーとして赴任。九州唯一のプロ吹奏楽団“九州管楽合奏団”クラリネット、バスクラリネット奏者、松田楽器店クラリネット、バスクラリネット講師。



近藤聡彦 ファゴット

12歳よりファゴットを始め、山口県立豊浦高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科入学。卒業後渡米し、ニューヨークのマネス音楽大学にて大学院修士課程を修了。プロフェッショナル・スタディ・ディプロマ取得。コロラド州のアスペン音楽祭'90～'93シーズンに参加。オペラ劇場オーケストラ等で首席奏者を務める。また'93年に韓国室内管弦楽団の定期公演ソリストとして招かれ、モーツァルトのファゴット協奏曲を共演。カーネギーホールでソロデビューを果たす。これまで下関では、下関木管五重奏団のメンバーとして参加。下関第一高校管弦楽団の、過去13回定期演奏会でオーケストラ・トレーナー、客演指揮者としても活躍。近年では市民会館の「街角コンサート」シリーズやフロイデ伊豆島コンサートシリーズにてリサイタルを行い、市民会館のチェンパロを使用した「チェンパロ・コンサート」にも出演し好評を博す。第11回下関ソロ・アンサンブルコンクールにて重賞受賞。第33回山口県学生音楽コンクール管楽器部門第1位。毎日新聞社賞受賞。令和元年度下関市芸術文化振興奨励賞受賞。岩崎隆司(山口芸術短大)、岡崎耕治(元NHK交響楽団)、中川良平(元サンフランシスコ響)、霧生吉秀(元NHK交響楽団)、ハロルド・ゴルトツァー(元ニューヨーク・フィル)、レナード・ヒンデル(元ニューヨーク・フィル)、キム・ラスコフスキー(ニューヨーク・フィル)の各氏に師事。多くの著名な指揮者、演奏家、オーケストラと共に、ニューヨークの様々なシーンの最前線で、長年にわたり演奏し、'13年に帰国。帰国リサイタルを開催。現在下関を中心に、下関チェンバーアンサンブルや防府音楽祭、北九州グランフィアハーモニー管弦楽団など、各地で演奏活動を行っている。また毎年8月に行なわれる「山口ダブルリード合宿」に講師として招かれ、後進の指導にもあたっている。



村田真一 ホルン

日本クラシック音楽コンクール第3位、Japan Horn Audition 2020 第1位。下関市立大学卒業後、山口県警察音楽隊を経て、青年海外協力隊に参加しコロンビア共和国に赴任。青少年オーケストラ“Fundacion Batuta”で指導者育成や青少年のレッスンにあたる。これまでに、下関市民オーケストラとモーツァルトホルン協奏曲第3番、同第4番を、カルダス交響楽団とR.シュトラウスホルン協奏曲第1番を共演。現在、公演等の企画制作を行う傍ら、オーケストラ、室内楽、吹奏楽など、九州山口を中心に演奏活動を行う。下関市民オーケストラ団員。ホルンを三好隆三氏に師事したほか、ペーター・ダム氏の公開レッスンを始め、国内外のオーケストラプレイヤーのレッスンを受講。



宮田瞳 ピアノ

梅光女学院高等学校音楽科卒業。アメリカ・リバティール音楽学部ピアノ科を最優秀賞にて卒業。パリ・エコールノルマル音楽院ピアノ科へ留学。ニース夏季国際音楽アカデミーにてジャン＝マリ・コデ氏に師事。これまでにピアノを田中敦子、デイビッド・アーマン、ミカエル・ウラドコフスキーの各氏に、室内楽をデビー・エルリ氏に師事。現在は後進の指導にあたる傍ら、ソロ、アンサンブル、伴奏等の演奏活動を行っている。

ロシアの作曲家ムソルグスキーの名曲『展示会の絵』。友人の画家ヴィクトル・ハルトマンの遺作展を歩きながら、そこで見た絵の印象を音楽に仕立てた作品です。

絵を見てつくられたこの音楽。今度は音楽を聴きながら絵を描いてみよう！と始まったのが「みんなの展示会の絵プロジェクト」。生演奏を聴いて感じたままに絵を描くワークショップ、そしてそこで生まれた作品を音楽とともに鑑賞するコンサートの2つのイベントで構成されるプロジェクトです。

2023年1月22日(日)に午前の部、午後の部と2回にワークショップを開催しました。午前の部は学生の皆さん、午後の部は4歳から大人まで多様な経験、感覚を持つ参加者が同じ空間に集まり、楽曲の解説を全く行わないまま『展示会の絵』の演奏を一緒に鑑賞。それぞれが感じたこと、連想したことなどを自由に絵に描いていきます。

今回採用した画材はパステルです。そのまま描いたり、削った粉を指でひろげて色を混ぜたり、気軽に多彩な表現ができます。講師は下関で活動されているパステル画家、藤井元康さんです。

制作にあたり、先生との約束は「上手に描こうとしないこと。」初めてパステルに触った人も、先生やスタッフの助言を受けながら、今使

たい色をポストカードサイズの空間に乗せ、作品を作っていました。

今回のコンサートではデータ化した全作品を取り入れた映像に加え、制作した3枚の作品のうち参加者自身が選んだ1枚を会場にて展示します。データでは表現しきれないパステルの質感や繊細な色彩を是非直接ご鑑賞ください。



電車：下関駅より徒歩約15分 / バス：「細江町バス停」下車徒歩約5分

アルテナゴ
一般社団法人arte75

Tel: 070-8398-4809

Email: info@arte75.org

Website: <https://arte75.org>

LINE公式アカウント▶

